



槐 魂

～11月号～

生徒会広報部

今月の見応え

祝 生徒会第一号生徒会新聞発行！
新 コーナー開設 読みごたえあり！

成功の魔法の言葉 伝授

九月の二十八日、今年度初のトップリダー教室が行われました。今回の岩崎由純先生による講演は、「ペップトーク」という、身近な生活でもよく使われる言葉について講義をしていただきました。

講師の岩崎先生は、その巧みな話術でペップトークのすごさを伝えてくださいました。スライドショーを完璧に使いこなしていた岩崎先生の講演には、感動するものがありました。



生徒も先生もとても熱心だった。

多くの書籍を世におくりだしている。我々楠隼生として、寮生活という多くの年代が緊密に接する岩崎先生は、過去にオリンピックに出場したバレーのチームの監督をしていた経験があり、そのときもペップトークの力により勝った試合がいくつもあったようです。終盤に見た跳び箱の動画でも、ペップトークの力により成功していたことを知り、ペップトークの力が明確に伝わってきました。

(中井)

新人大会 結果はいかに

十月十六日から十八日にかけて地区新人大会が行われました。今回は新人戦ということで二年生中心のチーム編成になり、一年生も出場する場面が多々見られ

ました。このコーナーでは結果および感想を掲載します。

◇試合成績◇

①サッカー部

①田崎・吾平中 0・1
②東吾平中 1・1
③垂水中央 1・1
④鹿屋中 1・1

試合内容：センターバック①ミッドフィールダー②インターセプト後ワン、ツードゴール③スループス④

感想…この大会を通してチーム

の課題も見つかったし、自分自身も見つかった。U13に向け練習を頑張りたい。

◇弓道部

男子団体①鹿屋東A ②楠隼A ③鹿屋東B

男子個人①鹿屋東 ②佐辺桜介 ③細山田

感想…準優勝は初めてのことであったが一位との差が三・四本だった

たので悔しい気持ちながらも強い。だが、一年生から二年生の全員がとも頑張ってくれたのでとてもうれし。

◇軟式野球部

波野・国見合同8・9 (サヨナラ負け)

試合内容：馬込三回から七回登板、荒武ピッチし、東一安打二打点、山樺木野二安打二打点、山下特大ツーベース

感想…最終回ツーアウト満塁で二点リードで勝つ

今回の農業漁業民泊体験では、肝付町内をはじめとする多くの方々の家庭にお邪魔し、農業、漁業について学びました。今回の受け入れ家庭は十七家庭。いずれの家庭でも貴重な体験ができました。去年に受け入れてくれた家庭が今年度も受け入れてくださったので、新しく受け入れてくださった家庭があったりしました。生徒からは「この民泊を通して農業の大変さを知ることができた。これからはもつと食に対する感謝の気持ちをもって食べたい。」という声や、「今回は炭焼きという仕事を手伝った。とても楽しく仕事をしていたことを忘れてしまっただけだった。また、次の日の炭を使っ

ていたが緊張に負け押し出しと長打で逆転されサヨナラ負けになった。非常に悔しい結果だ。次の試合への反省をしっかり行いたい。

◇卓球部

(団体) 全員

垂水中央シングルス2 ダブルス1

(個人) 國澤 鹿屋東 敗北

感想…目標としていた団体戦一勝を達成できた。でもチームとしての質

は低すぎるのでこれから団結して県大会に出場できるようにしたい。

◇バスケットボール部

第一鹿屋 負け 田崎 負け 錦江 負け

試合内容：第三クォーターから点差が開いてしまった。二年生全員が活躍していた。

感想…体力とミスが課題だ。途中までは接戦でいい試合だった。

◇剣道部

想像してみてください。あなたは成人した息子をもつ親です。卒業後、無事就職した息子が「僕はこの仕事に向いていないから辞めたい」と言い始め、辛そうで見兼ねたあなたも賛同しました。しかし、その後も「思ったような仕事ができない」「先輩が何も教えてくれない」「連入会社の方が自分は成長できる」と次々に辞めてしまう息子がだんだん心配になってきました。これは極端な例ではなく、「新入社員」の30%が3年以内に辞めるというデータがあります。「根性がない」と片付けるのではなく、この例を心理学的に考えてみましょう。

(宮島)

農業民泊 地域との交流深める

今回の農業漁業民泊体験では、肝付町内をはじめとする多くの方々の家庭にお邪魔し、農業、漁業について学びました。今回の受け入れ家庭は十七家庭。いずれの家庭でも貴重な体験ができました。去年に受け入れてくれた家庭が今年度も受け入れてくださったので、新しく受け入れてくださった家庭があったりしました。生徒からは「この民泊を通して農業の大変さを知ることができた。これからはもつと食に対する感謝の気持ちをもって食べたい。」という声や、「今回は炭焼きという仕事を手伝った。とても楽しく仕事をしていたことを忘れてしまっただけだった。また、次の日の炭を使っ

たB・BQは園田さんとのコミュニケーションを欠かさずに行えた。自然の恵みを改めて教えてくれた。」という声がありました。また、受け入れ家庭からは「素直で礼儀正しい生徒だった。」「短い一日でしたがよい子供、素直な子供に出会うことができて大変幸せな時間をありがとうございました。」という声もありました。農業漁業民泊体験を通して学んだことを、日ごろの生活で役立てられるようにしましょう。

(中井)



一生懸命畑を耕す杉原君

近年、広く知られ始めた心理学者アドラーの考え方に「人間は自らの目的のために行動を選択する」というものがあります。「過去の経験がトラウマで〇〇ができない」と語る人、見聞きしたことありませんか。アドラー的思考では、過去の経験によって「できない」のではなく、「やりたくない」という目的のためにそれらしい理由をつけて「やらぬ」のだ、となります。最初の例でいうと、息子の目的が「働きたくない」なのであれば、どんな会社でも何かしら理由をつけて働かない、と考えられるわけです。皆さんにも、できない／やらぬのは「〇〇な経験があったから」「〇〇のせいだ」「仕方ないんだ」と思いこんでいることはありませんか。「やりたくない」という目的が自分の中ににあることから目を背けていませんか。アドラー的思考、してみませんか。

仰げば尊しく出水先生

鹿屋東 一本負け(大塚海征)
第一鹿屋 一本勝ち(大志万晴範)
鹿屋 一本負け(大志万晴範)

感想…全く基本打ちなどができていなかった。今の剣道では全く通用しないことが分かった。しっかりと基本打ちを学び優勝できるようにする。

◇弓道部第二位の感想◇

弓道部顧問岩脇先生の感想…十月一日の県大会での課題を基に取り組んだ結果。次の大会でも伸び伸びと楽しんで競技してほしいです。

中学宇宙部全国三位 高記録叩き出す快挙

十月二十日（金曜）から十月二十二日（日曜）までの間、中学宇宙部は、筑波宇宙センターで行われる、全国モデルロケット大会に出場してまいりました。中学宇宙部がこの大会に出るのは、創立以後初のことです。部活動で全国大会に出場する記念すべき第一回目となりました。



（中井）

全国モデルロケット大会では、ペイロードと呼ばれる定点着地競技、高度競技、パラシュート競技の三つを種目として競い合われます。今回、種目別三位を獲得したのは、宇宙部の中でも精鋭を集めた楠隼Aチーム（作永・橋口・升水）でした。種目はペイロード定点着地という競技で、この競技は成功するだけでも難しい競技です。そのうえ、悪天候だったなか、三人中三人がこの競技に成功し、しかも高得

赤い羽根募金について

十一月十五、十六日に赤い羽根募金をします。回収は朝の会に学級総務が行います。

去年に引き続き実施します。皆さんのご協力よろしくお願ひします。

（お金の管理は各自自己責任でお願いします。）
生徒会執行部より

日本語の面白さ 歴史を基に詳しく解説

トップリーダー教室は、芥川賞などを受賞した大岡玲先生が講演をされました。先生は大学で日本文学の指導とイタリア語の翻訳という幅広い仕事をされている方です。

先生が演題に挙げたのは「Iはyouのことheartからloveよ！」というとてもユニークな題材でお話をされました。

講演内容としては、日本語の言葉はあつたが文字がなかったため中国の文字を使って、ヤンキーの人が使う「夜露死苦」のように当て字で表現したということが分かりました。また、最近のネットに上がっている声のような、人の心を傷つけるような言葉があることに憤りを覚え、やっつてはいけなないと丁寧に教えていただきました。

題名にある言葉の意味は「私はあなたのこと心から愛してるよ！」という意味であり、中国語の漢字を当て字で入れたのならば、英語でも一緒だということに、会場からは納得の声が上がっていました。

毎回、トップリーダー教室では、人生の糧になる情報が多く、将来につながるようなことを教えてくださいます。しっかりと自分のものにできるようにしていきたいでしょう。

（トップリーダー教室は南日本新聞にも掲載されています。）
（宮島）

・各委員会から）十月専門部会より、学習：定期考査の対策をしよう。（学習コーナー作成）

・体育：体育館における行動を機敏にしよう。
（先生の指示を聞き速やかに行動しよう）

・保健：生活習慣を見直そう。
（歯磨きチェック、ポスター作成、呼びかけなど）

・図書：おすすめの本を紹介しよう。
（紹介プリント作成後図書室に掲示）

・広報：学級新聞を作成して掲示しよう
（各学級で学級新聞を作成し、二十日までに掲示する）

・美化：掃除用具を大切に扱おう。
（毎日掃除棚をチェックし、その都度道具を整理整頓する）

・生活：制服の身なりを整えよう
（制服の着こなしがだいぶ雑にならなすましよう。）
（宮島）

流鏝馬祭り雨天決行

十月二十二日に肝付町最大の祭りである流鏝馬祭りが雨天の中で決行されました。今回の流鏝馬祭りでは参加者が多く集まりました。楠隼からも多くの人が来てとても盛り上がりがありました。また、楠隼では流鏝馬ボランティアに参加する人も多くおり地域活性化に大きく貢献しました。今回楠隼では多数の参加者がいました。

流鏝馬は馬に乗りながら三つの的を射るものです。今回の流鏝馬実行の直前、雨が降り決行が危ぶまれました。その後小雨の中ついに決行しました。射手は高山中の二年生で、馬は、今年から新しく

入った馬を起用しました。昨年度は癖が強い馬で失敗に終わりました。よって今回は馬を変え、さらに馬道を広くするという対策をしました。すると馬と射手の息があつたのか、最も縁起の良いとされる九本中八本という成績になりました。射手も観客もとても笑顔でした。流鏝馬終了直後に雨が強く降り、急いで帰った人も多くいました。しかし、ボランティアに参加している人やそうでない人も濡れながら片づけていました。このように様々な人の支えがあつてこそできる行事です。流鏝馬祭りは肝付に希望を与える祭りです。来年も多くの人がボランティアに参加することを願っています。

【編集後記】
今年に入ってからの二回目の発行。新生徒会となり、二人三脚で作りました。新コーナーを設け、蛍光ペンではこれからの注目の話題の紹介、仰げば尊しでは先生方の伝えたいことを書いてもらうコーナーなど様々です。これからの発行を少しずつ早めたいと思います。正確かつ迅速な情報を提供できるように尽力します。ぜひ、これからの生徒会新聞に期待をお願いします。
（生徒会広報部：宮島、中井）